

令和 6 年度

川越町多文化共生社会日本語交流推進事業

事業報告書

令和 7 年 2 月 14 日

主催：川越町

実施（事業受託者）：公益財団法人三重県国際交流財団（MIEF）



# 1. 事業概要（仕様書上の事業内容）

---

## （1）事業の目的

本事業は、町内で外国人住民と日本人住民が日本語で交流し、お互いを認め、学び合い助け合える日本語学習環境づくりをめざすため、町民同士が日本語で交流する場としての日本語教室「にほんご交流サロン」を定期的を開催し、外国人住民と日本語パートナーの日本語での対話を深めることで、外国人住民のニーズを把握するとともに日本語パートナーの活動の場を広げ、次年度以降の日本語教室の継続開催につなげることを目的とする。

## （2）事業の内容

### ア. 日本語パートナーミーティングの開催

- ・ 対象者 : 令和5年度に育成した川越町の日本語パートナー
- ・ 実施回数 : 1回（実施時間は90分程度）
- ・ 参加見込数 : 19人
- ・ 実施時期 : 令和6年5月中旬又は下旬

### イ. 日本語教室「にほんご交流サロン」の開催

- ・ 対象者 : ①日本人と交流し、日本語を学びたい町内在住、在勤の外国人住民  
②令和5年度に育成した川越町の日本語パートナー
- ・ 実施回数 : 全7回（1回当たりの実施時間は、1時間程度）
- ・ 参加見込数 : 外国人住民 延べ105人（15人×7回）  
日本語パートナー 延べ105人（15人×7回）
- ・ 実施時期 : 令和6年6月～12月

### ウ. その他

- ・ 日本語教室「にほんご交流サロン」及び日本語パートナーミーティングの実施内容を報告書として作成し、提出する。
- ・ 業務の進捗に応じて適宜打合せを実施するとともに、協議報告書を作成し、提出する。

## 2. 事業実績

### (1) 日本語パートナーミーティングの開催

令和 5 年度に川越町が育成した日本語パートナーを招集し、にほんご交流サロンの役割、運営方法を学ぶとともに、サロンの活動内容について協議するミーティングを実施しました。



日本語パートナーミーティングの様子

#### ア. ミーティング内容

- (ア) 日時 令和 6 年 5 月 26 日 (日) 10:00~11:30
- (イ) 会場 川越町ボランティア活動拠点施設 「ささえあい」
- (ウ) 内容 下記のとおり

内容
(1) あいさつ
(2) 川越町日本語パートナー自己紹介
(3) にほんご交流サロンの活動内容について
(4) にほんご交流サロンの運営について
講義「にほんご交流サロンの役割と日本語パートナーの心得について」
三重県地域日本語教育コーディネーター 早野 実花さん
講義 にほんご交流サロンの運営ルールについて
三重県地域日本語教育コーディネーター 日比野 一子さん

#### イ. 参加人数

川越町日本語パートナー 14 人

#### ウ. 事業写真

日本語パートナーミーティングの様子



## エ. 日本語パートナーミーティングにおける主な意見（議事録より一部抜粋）

- ・ 7月7日、12月1日は日本語能力試験がある。我々も参加もしにくいし、実習生も誘いにくい。7月、12月は第一日曜日を外してほしい。今後も日程のご考慮をいただきたい。
- ・ Line グループを作って、欠席、活動内容、それ以外の連絡を行いたい。
- ・ 新規ボランティアの受入れについて、研修を受けていない方でも基本受け入れる方向で進むが、新しく来られるサポーターがギャップを感じないようサポートしていただきたい。

## (2) 日本語教室「にほんご交流サロン」の開催

川越町在住・在勤の外国人住民と日本人住民が日本語で交流する場として、日本語教室「にほんご交流サロン」を全7回実施しました。なお、毎回サロン終了後に日本語パートナーとの振り返りを行いました。



にほんご交流サロン チラシ

主な募集方法（周知先）

- 外国人を雇用する町内企業
- 町内小中学校、高等学校
- 町内保育所、児童館
- 川越町教育委員会巡回指導員
- 川越町社会福祉協議会
- 町健康管理センター
- 町周辺日本語教室
- MIEF パートナー（川越町在住）

## ア. サロン内容

	日時・会場	サロン内容
第1回	6月9日（日） 10:00-11:00 「ささえあい」	テーマ「自己紹介をしよう」 名前、国、好きな場所、好きな食べ物を互いに紹介しました。

<b>第2回</b>	7月7日(日)	<b>テーマ「お互いの国を知ろう」</b> 出身地の場所、言葉、料理などを互いに紹介しました。また、短冊を作り、七夕について学びました。
	10:00-11:00 「ささえあい」	



<b>第3回</b>	8月4日(日)	<b>テーマ「防災について学ぼう」</b> 川越町防災担当より講座を受け、川越町の災害について学ぶとともに、ハザードマップを確認しながら、危険箇所、避難場所を確認しました。
	10:00-11:00 「ささえあい」	



<b>第4回</b>	9月8日(日)	<b>テーマ「日ごろの生活」</b> 県立川越高等学校英語インターアクト部の部員と交流し、日ごろの生活、高校時代の生活を互いに紹介しました。
	10:00-11:00 「ささえあい」	



<b>第5回</b>	10月8日(日)	<b>テーマ「川越町での生活を知ろう」</b> 「食べ物」をテーマにした言葉のビンゴゲームを行った後、町内のごみの出し方ルールや地域で開催されるイベントについて学びました。
	10:00-11:00 「ささえあい」	



<b>第6回</b>	11月10日(日) 10:00-11:00 「ささえあい」	<b>テーマ「週末の過ごし方」</b> 「食べ物」をテーマにした言葉のビンゴゲームを行った後、先週末にしたこと、週末の過ごし方を互いに紹介しました。
		
<b>第7回</b>	12月8日(日) 10:00-11:00 「ささえあい」	<b>テーマ「おにぎり作り」</b> 「冬」をテーマにした言葉のビンゴゲームを行った後、全員でおにぎりを作って、交流しました。
		

## イ. 参加者数

【第1回】日本語パートナー14人、外国人学習者42人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	ベトナム	ペルー	ブラジル	中国	合計
参加人数 (国籍別)	19人	15人	3人	3人	2人	42人

【第2回】日本語パートナー11人、外国人学習者5人（国籍別内訳は下記のとおり）

	ブラジル	ベトナム	ペルー	スリランカ	合計
参加人数 (国籍別)	2人	1人	1人	1人	5人

【第3回】日本語パートナー11人、外国人学習者34人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	インドネシア	ベトナム	ペルー	合計
参加人数 (国籍別)	18人	9人	6人	1人	34人

【第4回】日本語パートナー12人、外国人学習者23人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	ベトナム	中国	ペルー	インドネシア	合計
参加人数 (国籍別)	10人	6人	3人	2人	2人	23人

【第5回】日本語パートナー12人、外国人学習者7人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	ペルー	ベトナム	合計
参加人数 (国籍別)	4人	2人	1人	7人

【第6回】日本語パートナー11人、外国人学習者8人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	ペルー	ベトナム	合計
参加人数 (国籍別)	4人	2人	2人	8人

【第7回】日本語パートナー13人、外国人学習者13人（国籍別内訳は下記のとおり）

	カンボジア	ベトナム	ペルー	中国	合計
参加人数 (国籍別)	7人	4人	1人	1人	13人

参加者合計：日本語パートナー 延べ 84人 / 外国人学習者 延べ 132人

## ウ. 外国人学習者感想（アンケートより一部抜粋）



- ・ たくさん知識を増やせるので、いろいろなプログラムをたくさん作ってほしい。料理教室もあると良い。
- ・ 七夕について知ることができ、願いを書けたことがとても良かった。次回も日本の文化について学びたい。
- ・ 教室の回数が増えるとよいと思った。とても楽しかった。
- ・ 勉強時間が少ないので、長くしてほしい。
- ・ 近所の人たちとコミュニケーションが取れる場を作っていただき、嬉しい。

## エ. 取材関係

- ・ 第1回 CCNet 株式会社 川越町行政番組「情報満載！かわごえ」  
6月16日（日）放送
- ・ 第4回 川越町広報「広報かわごえ」  
2024年10月号掲載
- ・ 第7回 三重テレビ「旬感☆Mie 川越町」  
12月16日（月）放送



## オ. 業務の成果・効果

- (ア) 本事業における「にほんご交流サロン」は、12月で最終回を迎えましたが、日本語パートナーが中心となり、川越町社会福祉協議会の協力を得ながら、1月から3月まで継続してサロンを開催することになりました。また、来年度は川越町より同社会福祉協議会に事業を委託し、にほんご交流サロンが継続して開催される予定です。
- (イ) 見学に来られた2人のボランティアがメンバーに加わり、今後も日本語パートナーとして活動されることになりました。
- (ウ) にほんご交流サロンの後半は、日本語パートナーが中心となりサロンの運営（会場の設営、受付など）を行ったり、活動内容を提案したりして、自らサロンを運営されました。

## カ. 今後の検討事項

- (ア) にほんご交流サロンの実施日を決めるにあたり、日本語能力試験や旧正月など外国人学習者が来ることが難しい日を避けて、設定する必要があります。
- (イ) 新規ボランティアの受入れにあたり、ボランティアの知識の差を埋めるため、日本語パートナー養成研修の開催が必要であるとともに、現在活動しているボランティアのモチベーションを維持するために、フォローアップ研修の開催について検討する必要があります。
- (ウ) 外国人学習者のニーズにあったサロン開催のため、事前に話したいテーマ、学びたい事などについて尋ねるアンケートの実施が必要だと思われます。
- (エ) 日本語パートナーがサロンの運営や活動内容について相談できるよう、定期的に三重県地域日本語教育コーディネーターがサロンに参加し、連携を図ることが望ましいと思われます。
- (オ) 外国人学習者の募集について、サロン開催中に2度外国人を受け入れる企業や学校などの関係機関に周知しました。しかし、外国人の入国、転居が流動的であるため、随時広報活動を行うことが効果的であると思われます。
- (カ) サロン申込者（1回以上参加した学習者）73人のうち、7割以上に当たる52人が協同組合を通して町内企業に配置されている技能実習生でした。技能実習生はシフト制で働いており、土日仕事をする方が多く、学習者が少ない開催日が生じた要因とみられます。また、参加者の多くは、日本人と話し、日本の文化を学ぶことを希望し参加されていましたが、中には

日本語教室において試験対策や文法、漢字を学ぶことを希望されている方もいました。技能実習生に加えて、より広く外国人定住者などの参加を募るとともに、外国人学習者のニーズを把握して、それに応える対策を検討することが必要だと思われます。

※ 定住者（特別永住、永住、定住、日本人の配偶者等の在留資格を持つ外国人）は、川越町における外国人住民数（759人）の42%（317人）を占めています。

※ 技能実習生は、35%（264人）を占めています。

出典：法務省在留外国人統計/2024年6月

- (キ) 日本語パートナーの参加者見込み延べ人数 105 人に対し、延べ 84 人が参加しました。参加見込み者数から減った一因として、令和 5 年度に育成した日本語パートナー 19 人のうち、1 人が辞退、1 回も参加されなかった方が 1 人、1 回～2 回のみ参加された方が 3 人いました。どなたも家庭の事情でサロンの開催時間帯に参加が難しいという理由でした。今後、日本語パートナーや外国人学習者に、サロン開催を希望する時間帯を尋ねて、日時の設定等の検討をするとともに、活動可能なパートナーを確保するため、新規日本語パートナーの育成が必要だと思われます。